

平成20年度
附属中学校・入学式

式 辞

第六十二回鳥取大学附属中学校の入学式をここに盛大に挙行できますことを、
心よりうれしく思います。

ご来賓の皆様のご臨席を賜りましたこと、深く感謝申し上げます。

ありがとうございます。

そして、保護者の皆様、本日は誠におめでとうございます。

私たち教職員は一丸となって、お子様の成長を助けるとともに、

文武併進の尚徳精神と切磋琢磨することに屈しない

個性豊かな・たくましい生徒たちへと教育を展開してまいります。

信頼関係の上に成り立つ本校の教育理念の一つであります『切磋琢磨』は、

互いを信じ合い、共に成長する生徒間の人間関係の上に成立し、

また、生徒と教師間の心の結びつきの上に成立するものであります。

物事を知りつつある過程を経て、その事に関心を示し、

その事への関心が私たち人間に集中をもたらします。

そして、その集中する姿の中では具体的な一歩を踏み出す勇気と、

真なる意味の意欲が生まれます。

誰もが抱く「思い」を、思いで終わらせない生徒たちの姿を、

本附属中学校の生活の中に求めてまいります。

今、理想を描くことができなくなりつつある
現代社会において、
私たちは教育を通して高い志と大きな目標を
抱くことのできる真なる教育を、
本校の生徒とともに求め続けます

そして、幸せの青い鳥が、未来に生きる
生徒自身の中にあるように、
私たち教職員は、本日入学する生徒とともに、
本附属中学校の中に求めます。



さて、百五十八名の新入生、
君たち一人ひとりの個性は、身なりや顔のちがいはありません。
君たちが使う言葉の一つひとつが個性につながり、
君たちの振るまいの一つひとつが個性になっていくのです。

本校の先生方は、今君たちに必要であると思ったことに対して
それが君たちにどんなに大変なことであっても、君たちを信じて、期待します。
先生方は、君たちがどんなに失敗しても、また、どんなに努力しても
さらに高い目標と大きな夢を君たちに期待します。

それは、この三年間、自分の限界を乗り越える君たちの成長と
困難に屈しない強い心を、君たちに身につけてほしいと願うからです。

失敗したときに、それを素直に認める正直さと
その失敗を生かして、前に進む勇気を持つことを
新入生百五十八名の皆さんと、ここで約束しましょう。

本学附属中学校の入学を許可します。

入学、おめでとう。

平成二十年四月八日

鳥取大学附属中学校長
矢部 敏昭